

平成30年度第9回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 平成31年2月26日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院7階ホール1
- 出席者： 理事長 森本 泰介
理 事 黒田 啓史, 半場 江利子, 松本 重雄, 位高 光司, 山本 壯太,
能見伸八郎, 木村 晴恵
監 事 長谷川 佐喜男, 中島 俊則
事務局 阿部経営企画局次長, 長谷川担当部長, 大島担当副部長, 榎木担当副部長,
濱口経営企画課長, 石田総務担当課長, 桑原管理PFI 担当課長,
北川京北病院事務長

1 開会

2 議事

(1) 経営状況月次（12月分・1月分）報告

資料1に基づき、阿部経営企画局次長から説明

- 各指標から分かるように、急性期病院の機能として素晴らしい結果となっている。稼働率が高ければなおよい。
- 暖冬であるが、インフルエンザ等の感染症の影響を受けているのか。
→ 今年度は、面会制限を早期から周知する等、感染管理を徹底した。
- 逆紹介の取組について教えていただきたい。
→ 外来の予約枠を空け、紹介患者さんを受け入れる体制を整えている。年度末は医師の人事異動もあることから、今の時期から症状の安定した患者さんは、かかりつけ医に返していくよう伝えている。その他には、市立病院の医療機能を患者さんに理解してもらうように、2人主治医制度等について、ポスターを作成し、掲示している。
- 1月の救急車搬送受入患者数が多いが、応需率が低い。理由はあるのか。
→ 京都府全体で救急隊からの救急車搬送件数は増加している。当院でも、1月の救急受入件数が多かったため、受入れに限界が生じ、結果として断り件数が増加し、応需率が低下した。救急医療体制は、京都市域全体で、課題である。

(2) 月次収支（12月分まで）

資料2に基づき、阿部経営企画局次長から説明

- 給与費が増加した原因はあるか。
→ 賞与の改定分の影響で増加した。

(3) 平成30年度補正予算について

資料3に基づき、阿部経営企画局次長から説明
議案のとおり承認された。

- 薬品購入量の伸びが大きい。
→ 薬価について引き続き価格交渉を進めるとともに、手技収益を伸ばしていく。

(4) 平成31年度予算案骨子について

資料4、資料5に基づき、阿部経営企画局次長から説明

議案のとおり承認された。

→ 32年度には診療報酬改定が控えており、厳しい予算編成となるが、収益構造を見直すなどして引き続き経営の安定化に取り組んでいく。

○ 消費税の影響は見込んでいるのか。

→ 税率の増加分2%を半年分見込んでいる。

(5) その他

○ 医師の時間外勤務等働き方改革への対応について

→ 中期計画にも職員の働き方改革への対応は明記している。計画達成に向けて取り組む。

○ 人間ドック等検診事業のPRを行うべきである。

→ 割引キャンペーンの実施、ワンフロアで完結する等PRしている。また、受検者増加に向けた取組も進める。

→ 割引キャンペーンについては、地下鉄の中吊り広告を出している。

→ GW10連休の対応について報告。5月6日（月・祝日）について、通常通り開院する。

3 閉会